



## 私たちは、奈良県オレンジリボン キャンペーンを応援しています。

私たち、奈良児童虐待防止ネットワーク『きずな』（民間団体）は、子ども虐待のない社会をめざし、奈良県内で児童虐待防止活動（オレンジリボンキャンペーン）を推進しています。

平成22年度、奈良県(中央・高田こども家庭相談センター)における児童虐待相談処理件数は、728件と平成21年度の639件を大きく上回り過去最高の件数となりました。

児童虐待による死亡事件が全国で多発するなか、昨年3月奈良県内において、小学校への就学を目前にした5歳児が、両親からの虐待により死亡するという事件が発生し多くの奈良県民に衝撃が走りました。

しかし、被害児童の激しい泣き声を聞きながらも、この事件に関する周辺住民や関係機関等からの相談や通告はなく、住民等の通告義務への正確な知識や理解が不十分な状況にあったと反省しなければなりません。

児童虐待は、保護者の子育てへの不安感、健康状態の不安定さや、相談相手のない孤立した環境など、様々な要因が重なることにより、ちょっとしたきっかけで誰にでも起こりうる「身近な問題」です。

本日、家族写真展にご来場頂きました皆様には、家族や子育てについて様々な想いを巡らせて頂きますとともに、「私たちの気づきから始まる子育ての社会支援」を御理解して頂き、地域に於いて子育てに「悩んでいる」「困っている」「問題がある」など、気になる子育て家庭に対し「早期の気づきと、相談機関への相談・通告」が、子どもの命を守り・子育て家庭を救うという事になります。この社会的援助のしくみが、奈良県全体に広がることを願っています。

毎年11月が「全国児童虐待防止月間」です。児童虐待は、子どもの健全な成長や自立を妨げ、時には尊い命までも奪う悲惨な出来事です。

「ストップ児童虐待」を合言葉に「オレンジリボンキャンペーン活動」の輪が全国に広がりますよう、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

今回、奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」の活動にご賛同頂き、ご寄付を頂きました家族写真展にご参加のご家族の皆様・奈良県写真師会の皆様に心より感謝いたします。

奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」

代表 藤掛 永良

# 奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」

奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」 代表 藤掛 永良

平成12年6月に発足しました奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」について紹介します。

## ○奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」の発足

### 奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」の概要

近年、家族関係あるいは子どもの教育について多くの課題が生まれています。中でも特に、養育者の子どもへの不適切な関わりによるさまざまな形の子どもの虐待が増加しています。私たちの住む奈良県においても、子どもへの虐待の数は年々増加しています。これらの課題には、児童相談所を始め関係機関の熱心な取り組みが行われています。この度私たちは、大きな課題を抱える子どもの虐待防止に対して、一人でも多くの方々や関係機関と民間団体が手を結びネットワークを作る必要があると考え、奈良県において、子どもの虐待防止活動に取り組む民間団体「奈良児童虐待防止ネットワーク・きずな」を設立いたしました。多くの方々と共に活動していくことを目指しております。どうか、皆様の積極的な御協力をお願い申し上げます。

### 【活動の目的】

さまざまな形で、虐待を受けている子どものいのち、人権を守り、また、虐待の加害者となってしまう人々へのできる限りの援助を目的として、地域社会において子どもの養育、家族への援助に関わる関係者あるいは保健・医療・福祉・教育・司法等の専門職・機関およびこの活動に賛同する人々との協力のもとに、民間団体として、子どもへの虐待の発見と防止活動への支援を行う。

### 【活動の内容】

1. 地域社会における、子どもへの虐待防止に取り組むための継続的な啓発活動、研修活動を行う。
2. 子育てのニーズに対応するために相談活動を支援する。
3. 効果的な緊急対応ができる地域システムを作るために、日常的な関係機関との連携を図り、情報交換を行う。
4. 対象者のニーズに応じて、必要な援助の紹介を行う。
5. 関係機関との協力のもと緊急の場合には危機介入できる体制作りをめざす。
6. その他、本ネットワークの目的の為に必要な事業を行う。

### 【会 員】

会員は、個人会員及び団体会員とする。

### 【組 織】

(1)代表 1名 (2)副代表 1名 (3)事務局長 1名 (4)幹事 若干名 (5)監査役 2名

### 【会 議】

年に1回、総会を開き役員及び案件について、協議し決定する。(2ヶ月毎に、役員会及び実行委員会開催)

### 【会 費】

会員の年会費は、個人会員3,000円、団体会員30,000円とする。

### 【事務局】

〒633-0053 奈良県桜井市谷480番地 (TEL0744-42-2831 FAX0744-43-7080)

社会福祉法人「飛鳥学院」 事務局長一河村喜太郎

### 【役員名簿】

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
代 表	藤掛 永良	臨床心理士(前 奈良大学教授)	副代表 兼 事務局長	河村 喜太郎	社会福祉法人「飛鳥学院」理事長 児童養護施設 施設長 児童家庭支援センターあすかセンター長
幹 事	石田 由美子	保健師(元 奈良文化女子短期大学教授)	幹 事	植村 圭子	社会福祉法人 奈良いのちの電話協会 理事
幹 事	岡本 和美	小児科医 (奈良県医師会 理事・奈良県小児科医会 理事)	幹 事	吉岡 章	小児科医 (奈良県立医科大学 理事長・学長)
幹 事	西田 修二	社会福祉士 (元 児童相談所 所長)	幹 事	藤田 滋	弁護士 (奈良弁護士会)
幹 事	工藤 華代	保健師 (田原本町 職員)			
監査役	福井 英之	弁護士 (奈良弁護士会)	監査役	訓覇 秋磨	臨床心理士 (畿央大学 講師)

### ○平成23年度 奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」事業計画(主なもの)

H23.6.11 平成23年度「きずな」総会(橿原市内膳町自治会館5F)

H23.6.11 第21回公開専門講座「虐待による乳児重症頭部外傷について」(講師一朴 永銖・奈良県立医科大学講師-脳神経外科医)

公開専門講座-第22回(平成23年11月)-年2回開催予定

事例研究会-第20回(平成23年9月)・第21回(平成23年11月)・第22回(平成24年2月)-年3回開催予定

ニュースレター発行ー 第25号(平成23年5月)、第26号(平成23年10月)、第27号(平成24年2月)-年3回発行予定

H23.12.2~3 日本子どもの虐待防止研究会第17回学術集会・茨木大会への参加「テーマー子ども虐待の予防を考える」

電話相談事業(社会福祉法人飛鳥学院に業務委託)

○平成23年度 奈良県児童虐待防止啓発強化事業 (23.6.~24.3/31、医療機関・各種団体・民間企業を訪問啓発活動-県委託事業)

○平成23年度 奈良県オレンジリボンキャンペーン事業 (23.9.~23.11、大学・市町村等でリレーキャンペーンの開催-県委託事業)